

施政方針に対する質疑

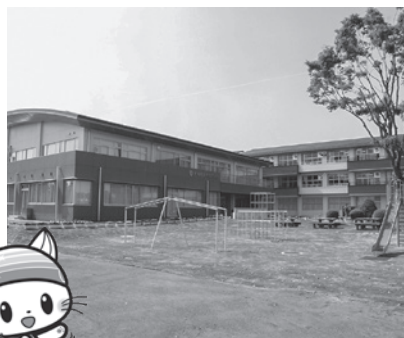
市長の施政方針に対する質疑

Q 都市計画税の導入について伺います。

A 都市計画税は公園や下水道の施設整備、さらには市街地の開発、土地区画整理事業などに要する費用に充てるための税金であり、原則として、市街化区域内にある土地、家屋について、その所有者に課税することになります。そういったことから、所有者の方の意向でありますとか、同意をいただくような形になりますので、多少時間がかかるものと思っております。今後も都市計画税の導入について慎重に検討していきたいと考えております。

Q 4月1日に開校する千代田義務教育学校の特色について伺います。

A 小中一貫校であることから、9年間を通して教員が連携を図りながら、学習面だけでなく生活面においても児童生徒へのきめ細かな指導が可能になります。また、小規模特認校の特色として、英語専科の教諭のほか、TT講師やALTを配置し、前期課程の1年生から英語力の向上に努めることが出来ます。さらに、千代田義務教育学校の周辺は、自然豊かな環境がたくさんございますので、これらを有効に生かして総合的な学習や、体験的な活動に取り組んでいく考えでございます。



▲千代田義務教育学校（上佐谷）



Q 下稲吉中学校に整備を計画している給食センターについて伺います。

A 下稲吉中学校への整備を予定しております給食センターにつきましては、下稲吉中学校、下稲吉小学校、下稲吉東小学校の3校分を対象にした下稲吉中学校区におけるセンター方式とするものであります。センター方式にすることで、施設の維持管理費や人件費の抑制が期待できます。

Q 過疎地域の指定について市長の見解を伺います。

A 霞ヶ浦地区が過疎指定された要件につきましては、平成7年から令和2年の25年間の中期的な人口動態によるもので、子育て世代にとって魅力あるまちづくりが求められているものと認識しております。今後は過疎地域持続的発展計画を策定し、市民の幸福感を高め、本市に住んでいてよかったと思えるような市の持続的発展を図ってまいります。

Q 筑波山地域ジオパークの今後の事業展開について伺います。

A 筑波山地域ジオパークがさらに4年間、再認定となりました。今後も6市で構成している筑波山地域ジオパーク推進協議会と連携しながら、ジオパーク講座やジオパークツアーを通して、本市の魅力の1つである自然環境や、地形・地質を生かした産業、歴史や文化を市内外の方に紹介する事業を展開していきます。また、霞ヶ浦の伝統漁法である帆引き船につきましても、帆引き網漁で捕獲される霞ヶ浦の多様な水産資源を郷土食や、魚の生態系の観点から調査・研究し、その成果を霞ヶ浦の魚食文化として、展示したり、自然環境の学習講座に取り入れたいと考えております。



▲帆引き船を組立てる漁師（坂・志戸崎漁港）